



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7061 URL <https://www.jhospice.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,401	22.7	400	79.1	280	149.5	164	165.2
2020年12月期第3四半期	3,588	17.5	223	△34.5	112	△56.0	61	△68.5

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 164百万円 (165.2%) 2020年12月期第3四半期 61百万円 (△68.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	20.67	20.35
2020年12月期第3四半期	7.89	7.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	7,982	1,447	18.0
2020年12月期	6,296	1,259	19.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,438百万円 2020年12月期 1,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	30.2	590	64.6	370	79.6	220	105.5	27.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業及び業績への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 ー社（社名）ー、除外 1社（社名）ナースコール株式会社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	7,971,000株	2020年12月期	7,887,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	216株	2020年12月期	187株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	7,941,083株	2020年12月期3Q	7,840,328株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### ① 経済状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言などの感染拡大防止策に伴って経済活動が大幅に抑制されましたが、当第3四半期後半から新規感染者数が徐々に減少したことにより経済活動再開の動きが出始めました。しかしながら、第6波への警戒感などもあり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

#### ② 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

#### ③ 2021年7月～9月におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした在宅ホスピスの事業を推進してまいりました。当第3四半期連結会計期間においては、新規開設施設はなく、また、本年10月以降に新規開設となる「ファミリー・ホスピス成城ハウス（東京都世田谷区）」「ファミリー・ホスピス本牧ハウス（横浜市港北区）」「ファミリー・ホスピス荒川ハウス（東京都荒川区）」等の開設準備を始めました。安定稼働施設については高い水準の稼働率を維持しております。

#### ④ 昨年新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた施設の状況

昨年新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた5施設のうち、当第1四半期末（2021年3月末）時点で満床（＝稼働率85％）に至っていなかった唯一の施設「ファミリー・ホスピス二子玉川ハウス（東京都世田谷区）」が2021年6月末で満床になり、当第3四半期連結会計期間より、5施設とも満床時利益レベルの貢献期間に入りました。

#### ⑤ 関西エリアへの進出

「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス（京都市北区）」については、開設後、稼働率の向上に少々時間を要しております。一方で、2021年6月下旬に前倒し開設した「ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス（神戸市垂水区）」の稼働率は順調に向上しております。

#### ⑥ 離職率の低下

創業以来注力してきた教育研修、ホスピス人材の育成とチーム作り、地域ドミナント展開の実現等により、当第2四半期より離職率が低下しました。離職率が想定より低下したことにより、例年、看護師等の流動性が高まる春に採用を集中させるため、2021年4月以降、一時的に人員が余剰になりましたが、2021年7月末で余剰状態は解消しております。また、離職率が低下したことで採用費が減少しております。

#### ⑦ 前年同期比較

当第3四半期連結累計期間においては、2020年12月開設の「ナーシングホームOASIS藤が丘（名古屋市名東区）」及び2021年3月開設の「ファミリー・ホスピス大口ハウス（横浜市神奈川区）」が、第3四半期累計ベースでは赤字ですが当第3四半期においては黒字化しており、また、2021年5月開設の「ファミリー・ホスピス京都北山ハウス（京都市北区）」2021年6月開設の「ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス（神戸市垂水区）」の開設コスト及び黒字化に至るまでの赤字期間があったものの、前年同期には立ち上げ途中にあり新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた施設が全て安定稼働（満床）に入ったこと、さらには、既存の安定稼働施設が高い水準の稼働率を維持していること等により、前年同期に比べ、増収増益となっております。

#### ⑧ 当社の施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設開設後、約半年から1年をかけて当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、4,401,683千円（前年同期比22.7%増）となりました。利益に関しては、営業利益が400,410千円（前年同期比79.1%増）となり、助成金収入等の営業外収益32,755千円、借入金及びリース債務に係る支払利息等の営業外費用152,536千円を計上した結果、経常利益は280,629千円（前年同期比149.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164,156千円（前年同期比165.2%増）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産7,982,887千円となり、前連結会計年度末に比べて1,686,162千円増加しました。これは主に、建物及び構築物が752,177千円、リース資産が315,000千円増加したこと等によるものであります。

### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は6,535,612千円となり、前連結会計年度末に比べて1,498,077千円増加しました。これは主に、流動及び固定負債の長期借入金が計850,624千円、固定負債のリース債務が278,351千円増加したこと等によるものであります。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,447,274千円となり、前連結会計年度末に比べて188,084千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益164,156千円を計上したことに加えて、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ12,000千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当3四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.0%となり、前連結会計年度末の19.9%に比べて1.9ポイント減少しております。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2021年2月12日に公表した「2020年12月期 決算短信」に記載した2021年12月期の連結業績予想から変更はございません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業及び業績への影響については、現在のところ軽微であります。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、新規ホスピス住宅の開設スケジュールの変更や新型コロナウイルス感染防止への対策費用が増大する可能性がありますので、今後の推移状況を注視してまいります。また、業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	959,456	876,700
売掛金	775,379	942,458
その他	89,978	107,388
流動資産合計	1,824,814	1,926,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	146,897	899,074
機械装置及び運搬具	10,665	10,665
工具、器具及び備品	83,209	90,155
土地	227,600	408,630
リース資産	3,289,732	3,604,732
建設仮勘定	237,924	595,577
減価償却累計額	△378,205	△499,985
有形固定資産合計	3,617,822	5,108,849
無形固定資産		
のれん	509,927	468,023
その他	15,189	14,799
無形固定資産合計	525,117	482,823
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,324	88,797
その他	308,646	375,870
投資その他の資産合計	328,970	464,667
固定資産合計	4,471,911	6,056,340
資産合計	6,296,725	7,982,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	227,060	507,000
1年内返済予定の長期借入金	202,960	676,512
リース債務	57,203	65,517
未払金	55,268	42,691
未払費用	308,965	289,771
預り金	131,531	115,981
未払法人税等	9,273	111,481
賞与引当金	16,285	46,742
その他	42,170	18,472
流動負債合計	1,050,718	1,874,168
固定負債		
長期借入金	713,720	1,090,792
リース債務	3,169,845	3,439,882
資産除去債務	—	23,540
繰延税金負債	1,260	—
その他	101,991	107,228
固定負債合計	3,986,816	4,661,443
負債合計	5,037,535	6,535,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	343,930	355,930
資本剰余金	701,736	713,736
利益剰余金	205,083	369,239
自己株式	△395	△466
株主資本合計	1,250,354	1,438,439
新株予約権	8,835	8,835
純資産合計	1,259,190	1,447,274
負債純資産合計	6,296,725	7,982,887

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,588,051	4,401,683
売上原価	2,953,891	3,594,706
売上総利益	634,159	806,977
販売費及び一般管理費		
役員報酬	50,583	35,580
給料及び手当	103,982	105,192
賞与引当金繰入額	4,899	5,062
法定福利費	20,724	19,786
租税公課	96,606	100,811
のれん償却額	41,904	41,904
その他	91,896	98,229
販売費及び一般管理費合計	410,596	406,566
営業利益	223,563	400,410
営業外収益		
受取利息	8	9
助成金収入	1,386	32,351
業務受託料	943	163
その他	316	231
営業外収益合計	2,655	32,755
営業外費用		
支払利息	113,720	149,199
その他	—	3,337
営業外費用合計	113,720	152,536
経常利益	112,498	280,629
税金等調整前四半期純利益	112,498	280,629
法人税、住民税及び事業税	85,296	186,205
法人税等調整額	△34,698	△69,732
法人税等合計	50,598	116,473
四半期純利益	61,899	164,156
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,899	164,156

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）
四半期純利益	61,899	164,156
四半期包括利益	61,899	164,156
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,899	164,156

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第3四半期連結累計期間において、当社100%出資の連結子会社であるカイロス・アンド・カンパニー株式会社及びナースコール株式会社の2社は、2021年4月1日付でカイロス・アンド・カンパニー株式会社を吸収合併存続会社、ナースコール株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行い、商号をファミリー・ホスピス株式会社といたしました。

この結果、2021年9月30日時点では、当社及び連結子会社1社により構成されております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。